

市民海外レポーター大木章圭さん（スリランカ） 派遣期間 H26.7～H28.7

スリランカで日本を紹介する

前はスリランカの言葉や食べ物について、紹介させていただきました。今回は、私自身の活動について少し紹介します。本来の私の仕事は、農業従事者の生活向上支援なのですが、もう一つ別の仕事があります。それは「日本の紹介」です。スリランカ人と日本について話をする時よく耳にするのは、トヨタ、津波、広島、長崎、サクラなどです。（寿司やてんぷら、富士山はあまり出てきません）日本は豊かで、発展した国というイメージはあるようですが、それ以上でもそれ以下でもありません。私たちスリランカ隊員は、日本の事をもっと知ってもらえるように、日本に興味を持ってもらえるように、様々なイベントを通して、日本を紹介しています。今日は皆さんにそのイベントについてお伝えしようと思います。

防災イベント

日本を津波が襲ったのは、いまだ記憶に新しいですが、スリランカでも2004年に津波の被害がありました。スマトラ沖地震です。日本は災害が多いため、災害に対する準備、災害の知識、災害後の対処など、他国と比べると住民の意識は高いです。しかし、スリランカでは津波に対する知識も、意識も低かったため、大きな被害となってしまいました。そこで、日本の災害に関する知識や、経験をスリランカの子供たちに伝えるイベントを行いました。

当日のイベントでは、津波や土砂災害、洪水などを映像と共に紹介し、体験型学習として、身体を使って防災に関して学んでもらいました。子供たちが津波の映像を食い入るように見ていたのがとても印象的でした。



市民海外レポーター大木章圭さん（スリランカ） 派遣期間 H26.7～H28.7

チルドレンフェスタ

チルドレンフェスタとは、スリランカに在住している外国人が、自国の文化を紹介するイベントです。日本の他にも、韓国、イギリス、アメリカなどのブースが出展しており、当日は大盛況でした。日本ブースでは、習字、折り紙、縄跳びを紹介しました。子供達は他国の文化に触



れてとても楽しそうにしており、他国についての興味や、関心を持ってもらえたと思います。

私たちがスリランカで生活していることこそ一番の紹介になる

今回は二つのイベントを紹介させて頂きましたが、このようなイベントを通して日本を紹介しています。しかし、一番の紹介は**私たち日本人がスリランカにいること**だと思っています。スリランカで生活している日本人を通して、彼らは日本を身近に感じることができます。私が活動をしている田舎町では、日本人は私一人です。私が親切にすれば日本人は親切と思うだろうし、私が悪さをすれば、日本人は悪いと思っています。私は日本の代表だなんて思ったことはありませんが、途上国で生活するという事は、いやおうなしにその地域の人にとって、国の代表の様に映ってしまうのです。協力隊という活動は、ある意味そこで生活することだけでも、小さな二国間友好という点では成り立ってしまうと私は思っています。今後もスリランカ人が良いイメージを持てるように、楽しみながら生活していきたいと思っています。